



2004年度 決算説明会資料



株式会社 SJホールディングス
2005年5月25日

1 . 2004年度決算概況



1. 業績

連結

売上高 10,433 百万円 (前期比 65.9 % ↑)

当期利益 675 百万円 (前期比 - %)

単体

売上高 5,928 百万円 (前期比 15.7 % ↑)

当期利益 439 百万円 (前期比 6.7 % ↑)

2004年度実績 前年比【連結】



単位：百万円

	2003年		2004年		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	6,290	100.0%	10,433	100.0%	165.9%
営 業 利 益	825	13.1%	1,096	10.5%	132.8%
経 常 利 益	817	13.0%	1,055	10.1%	129.2%
特 別 利 益	9	0.1%	7	0.1%	77.1%
特 別 損 失	1	0.0%	1,335	12.8%	116.1%
当 期 純 利 益	480	7.6%	675	6.4%	-%

2004年度実績 前年比【単体】



単位：百万円

	2003年		2004年		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	5,121	100.0%	5,928	100.0%	115.7%
営 業 利 益	726	14.2%	807	13.6%	111.2%
経 常 利 益	705	13.8%	801	13.5%	113.7%
特 別 利 益	17	0.3%	-	-%	-%
特 別 損 失	-	-%	72	1.2%	-%
当 期 純 利 益	411	8.0%	439	7.4%	106.7%

2004年度実績 予想比【連結】



単位：百万円

	予 想 値		2 0 0 4 年		達 成 率
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	10,500	100.0%	10,433	100.0%	99.4%
営 業 利 益	1,200	11.4%	1,096	10.5%	91.4%
経 常 利 益	1,027	9.8%	1,055	10.1%	102.8%
特 別 利 益	-	-%	7	0.1%	%
特 別 損 失	-	-%	1,335	12.8%	%
当 期 純 利 益	704	6.7%	675	6.4%	-%

予想値は、平成17年2月4日公表の業績予想修正後の値

2004年度実績 予想比【単体】



単位：百万円

	期初予想値		2004年		達成率
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	6,205	100.0%	5,928	100.0%	95.5%
営 業 利 益	848	13.7%	807	13.6%	95.2%
経 常 利 益	818	13.2%	801	13.5%	98.0%
特 別 利 益	-	-%	-	-%	-%
特 別 損 失	-	-%	72	1.2%	-%
当 期 純 利 益	466	7.5%	439	7.4%	94.3%



単位：百万円

	2003年		2004年		前年比
	数値	構成比	数値	構成比	
給与手当	217	27.1%	294	22.9%	135.4%
研究開発費	20	2.5%	7	0.6%	- %
旅費交通費	47	5.9%	61	4.8%	130.8%
その他	532	64.5%	921	71.7%	173.1%
販管費合計	817	100.0%	1,284	100.0%	157.2%

(数値は連結)

バランスシート概要 【連結】



単位:百万円

		2003年		2004年		増減	
		数	値	構成比	数		値
資産の部	流動資産	3,778	84.8%	9,664	73.4%	5,886	
	固定資産	673	15.1%	3,494	26.6%	2,821	
	繰延資産	5	0.1%	2	0.0%	3	
	資産合計	4,457	100.0%	13,161	100.0%	8,704	
負債の部	流動負債	978	21.9%	4,312	32.8%	3,334	
	固定負債	169	3.8%	935	7.1%	766	
	負債合計	1,147	25.7%	5,248	39.9%	4,101	
少数株主持分		226	5.1%	279	2.1%	52	
資本の部合計		3,083	69.2%	7,633	58.0%	4,550	
総資産		4,457	100.0%	13,161	100.0%	8,704	

バランスシート概要 【単体】



単位:百万円

		2003年		2004年		増減
		数値	構成比	数値	構成比	
資産の部	流動資産	3,259	77.8%	3,531	43.2%	271
	固定資産	926	22.1%	4,641	56.8%	3,715
	繰延資産	5	0.1%	2	0.0%	3
	資産合計	4,191	100.0%	8,175	100.0%	3,984
負債の部	流動負債	1,008	24.0%	1,566	19.2%	557
	固定負債	169	4.0%	175	2.1%	6
	負債合計	1,177	28.1%	1,741	21.3%	563
資本の部合計		3,013	71.9%	6,433	78.7%	3,420
総資産		4,191	100.0%	8,175	100.0%	3,984

キャッシュフロー概要【連結】



単位：百万円

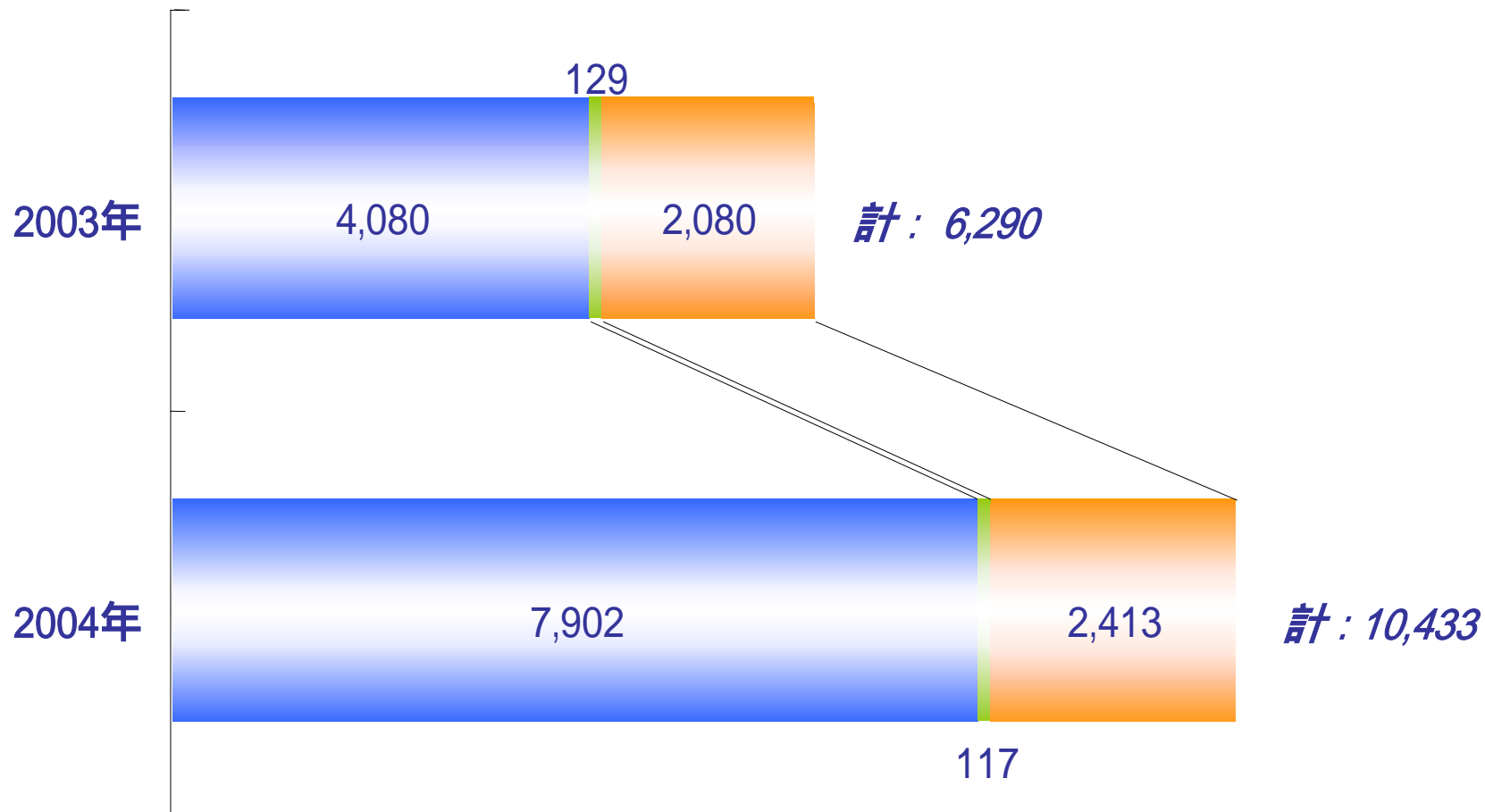
	2003年	2004年	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	551	195	355
投資活動による キャッシュ・フロー	167	857	690
財務活動による キャッシュ・フロー	14	642	657
現金及び現金同等物 期末残高	1,775	4,037	2,261

事業区分別売上高推移



■ システム開発事業 ■ ソフトウェア製品事業 ■ 情報関連商品事業

単位：百万円



所在地別売上高推移



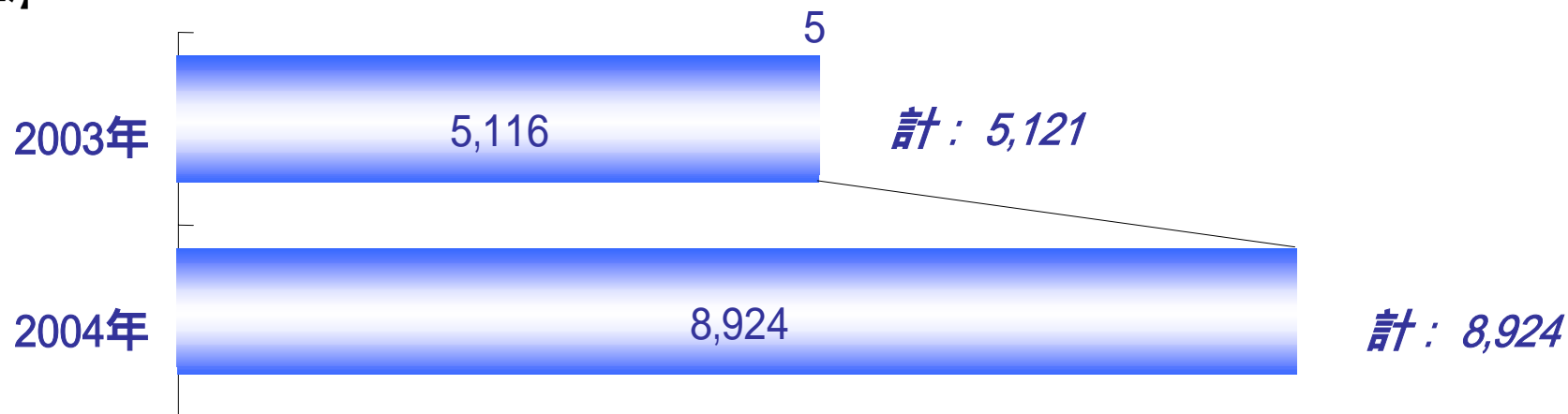
数値は連結消去前のもの

■ 外部顧客に対する売上高

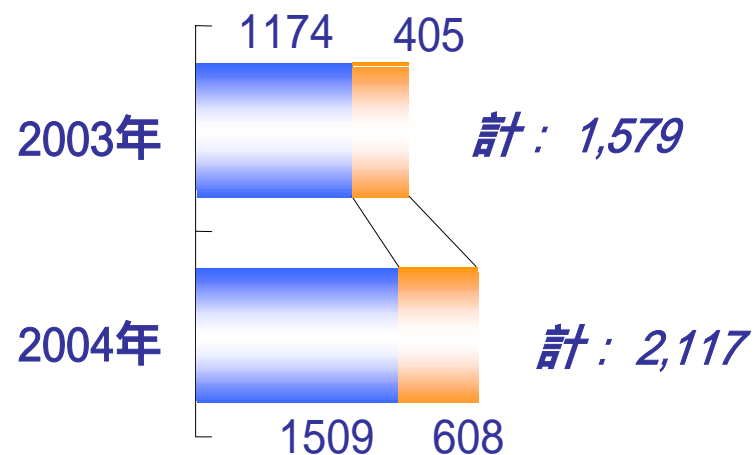
■ 内部顧客に対する売上高又は振替高

単位：百万円

【日本】



【中国】



所在地別利益高推移

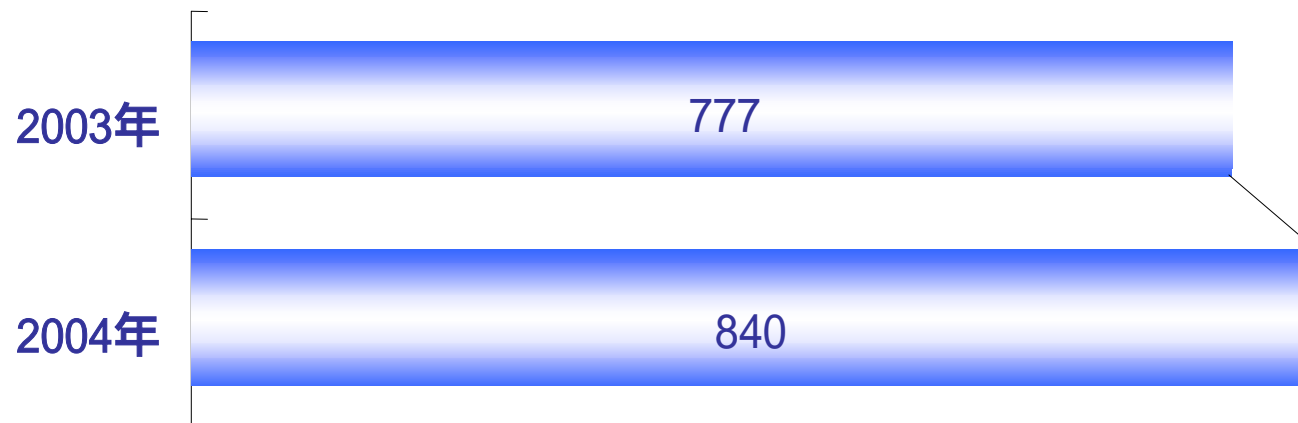


数値は連結消去前のもの

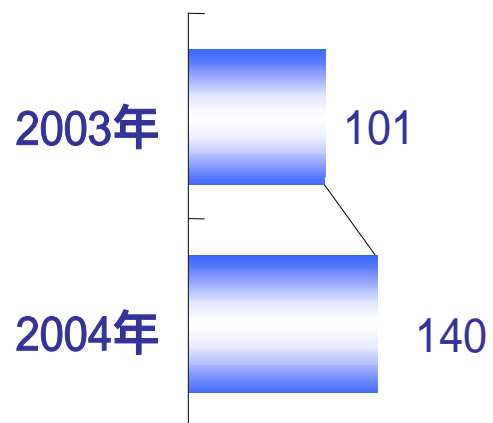
単位:百万円

＝ 営業利益

【日本】



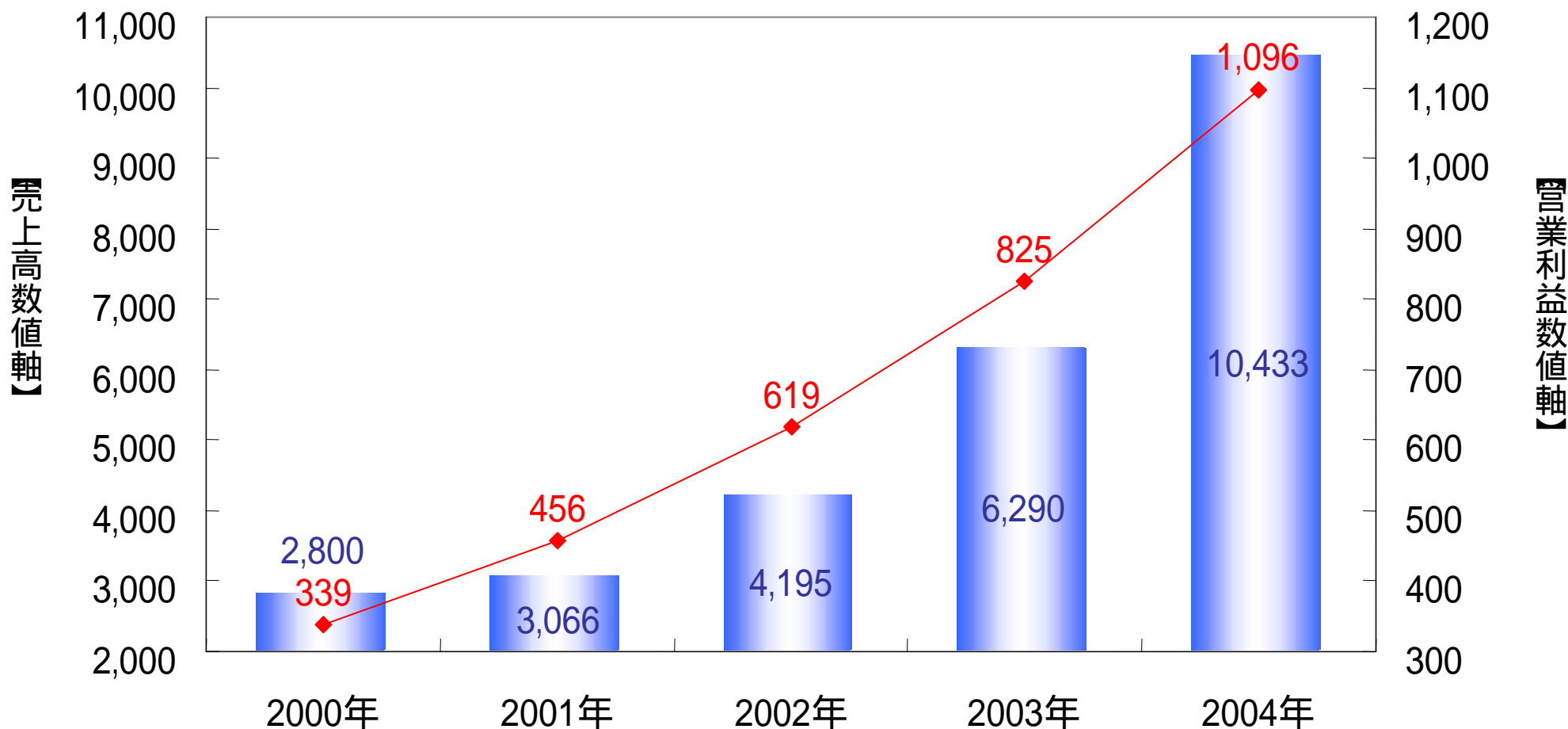
【中国】



売上・営業利益推移【連結】



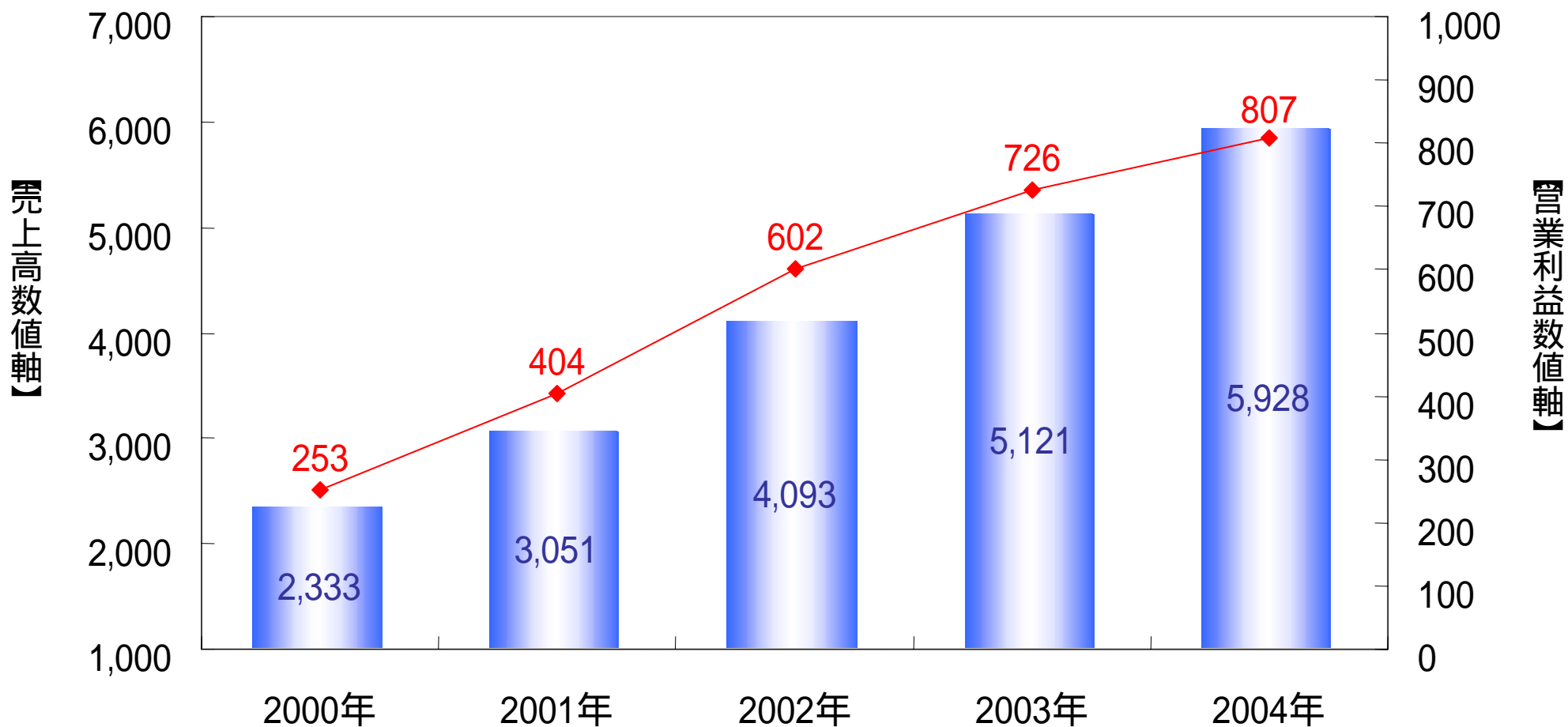
単位：百万円



売上・営業利益推移【単体】



単位：百万円





		2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
連 結	売上高営業利益率 (%)	12.1	14.9	14.8	13.1	10.5
	1人当り売上高(千円)	11,202	12,566	13,898	10,625	10,350
	自己資本比率 (%)	53.8	68.9	77.2	69.2	58.0
	R O E (%)	21.6	16.3	15.3	16.9	12.6
単 体	売上高営業利益率 (%)	10.9	13.2	14.7	14.2	13.6
	1人当り売上高(千円)	23,337	26,307	34,115	37,940	39,522
	自己資本比率 (%)	55.1	67.3	77.2	71.9	78.7
	R O E (%)	18.7	16.4	14.9	14.8	9.3

2 . 企業活動概要



1. 長所と短所

長 所

- システムの設計・構築に関する技術力の高さ
- 実績に裏付けられた独自の海外分散開発体制
- 日本における技術ノウハウ等の海外展開力

技 術 力

分 散 開 発 体 制

海 外 展 開 力

短 所

- 規模が小さいため、スケールメリットが出ない
- ビジネス / 収益の構造が不安定
- 業務知識に乏しい

小 規 模

収 益 構 造 不 安 定

業 務 知 識 の 不 足



1. 短所を補強する為の取組み

- 1) (株)TCCと(株)アイビートとの株式交換による経営統合
- 2) 会社分割によるホールディング会社の設立
- 3) 海外におけるM & Aの取組強化
- 4) 国内外におけるアライアンスの強化

2. 本業強化の取組み

- 1) 営業 / 開発部門の人材面強化
- 2) 資材調達システム / SCM / EDI等の専門性分野への取組み強化
- 3) NTTグループ会社とのさらなる取引関係強化
- 4) 経営統合後を見据えた大型案件獲得のための取組み



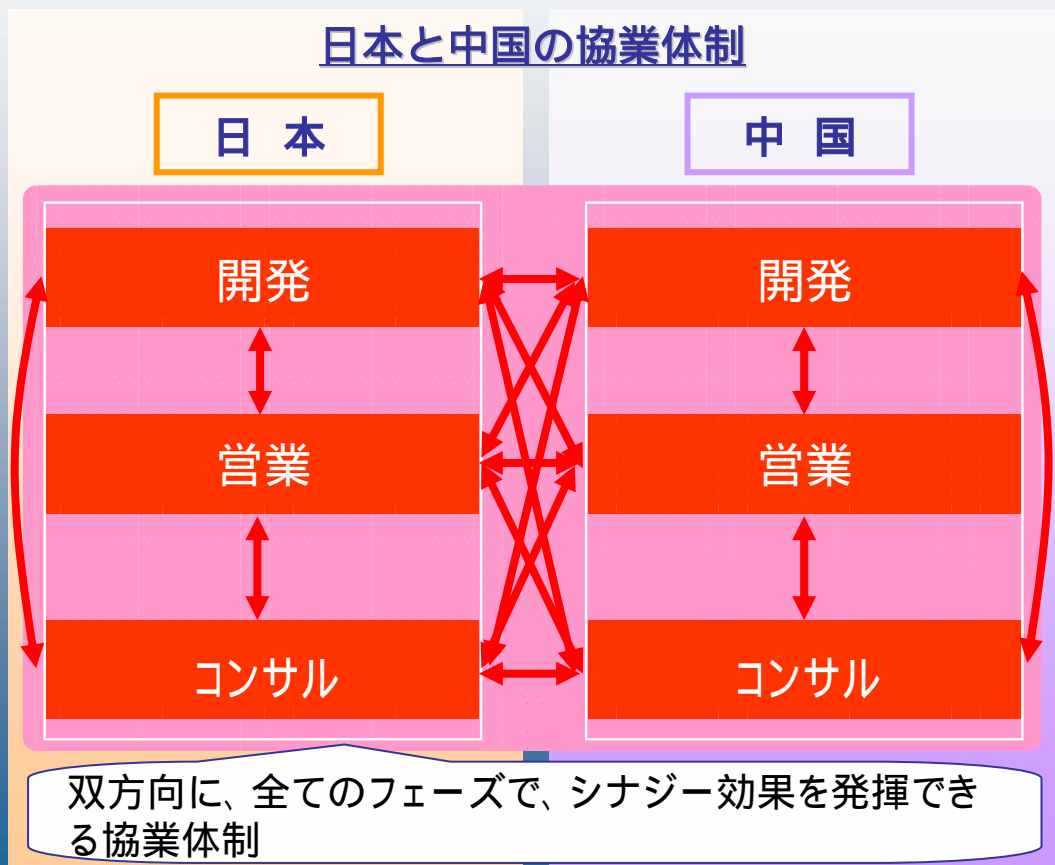
3. その他

- 1) プライバシーマーク取得へ向けての取組み
- 2) CMM取得に向けての取組み

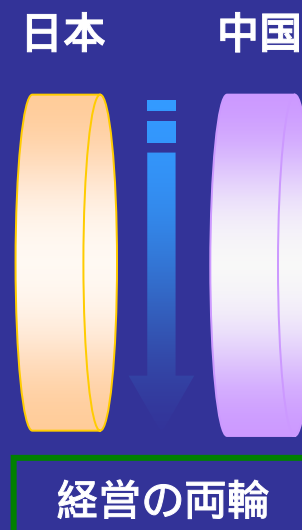


1. 将来のグループ像

日中両マーケットに対応できる双方向の協業体制



日中市場でのバランスの取れた成長

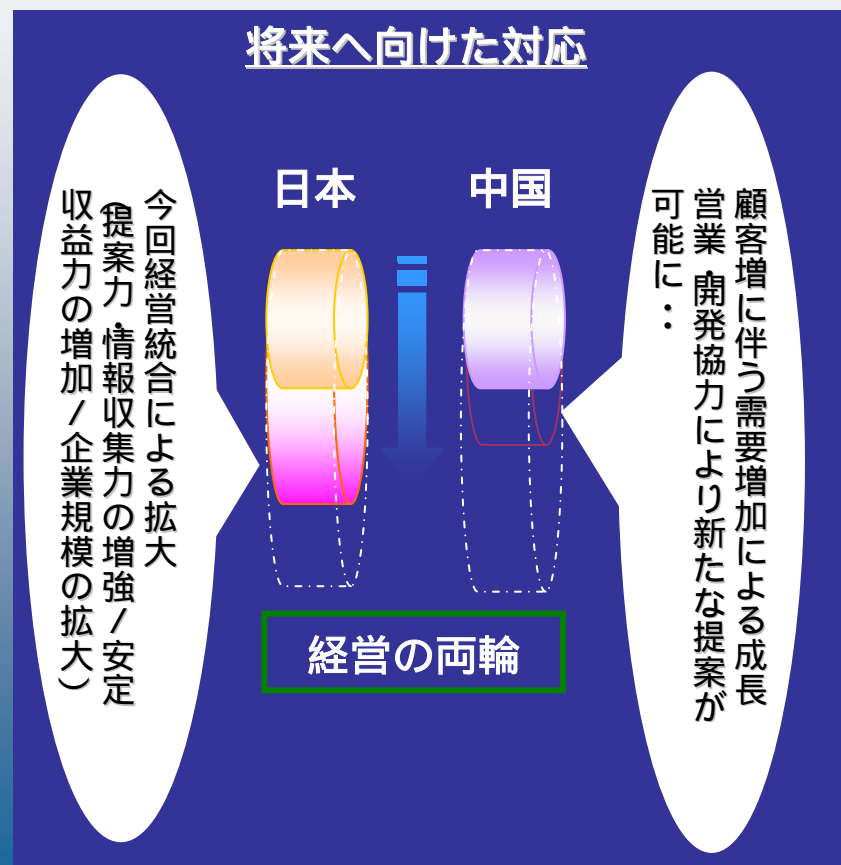
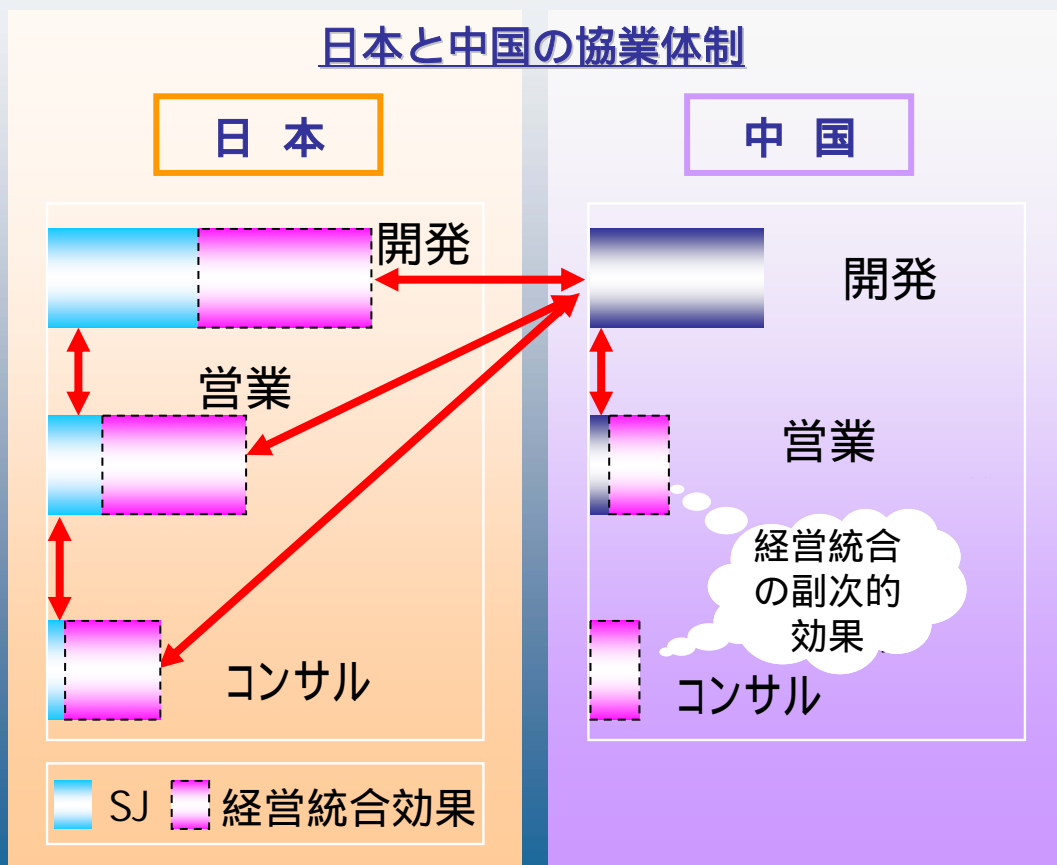


高い技術力をベースとし、上流工程への展開を加速。日中両国においてユニークな企業としての事業基盤を確立。相互にシナジー効果を生む。



2. 今回の経営統合後のグループ状況

国内事業基盤の補完・整備はとりあえず一段落



3. 当期の事業展開について



経営統合の実質効果をより一層発揮し、基盤作りと共に、
グループイメージの浸透と収益性を高める

スケールメリットが出るように、大型案件への取組みを強
化する

海外市場における高成長を実現する



国内部門

- 管理部門の一元化を推進 ⇒ 管理部門一元化
- 持株会社によるグループ統治を強化 ⇒ 持株会社統治
- 各事業会社の営業、技術開発部門の相互補完を推進 ⇒ 営業・開発協力
- 経営統合による総合力強化を顧客へアピール ⇒ 総合力アピール
- 資材調達システム / SCM / EDI等の分野へ注力(引き続き) ⇒ 専門分野への特化

海外部門

- 迅速な意志決定を目的とした持株会社の設立(香港) ⇒ 海外持株会社設立
- 中国優良国有会社のM & A(子会社化) ⇒ 優良会社子会社化
- 政府が顧客の中期大型案件の獲得 ⇒ 中期大型案件獲得
- 一般コンシューママーケットビジネスの模索(引き続き) ⇒ コンシューママーケット模索

4 . 2005年度の業績見通し

2005年度業績見通し【連結】



単位：百万円

	中 間 期		通 期	
	数 値	前 期 比	数 値	前 期 比
売 上 高	8,109	265.0%	18,050	171.9%
営 業 利 益	497	219.9%	1,885	157.1%
経 常 利 益	455	205.0%	1,803	154.1%
当 期 純 利 益	183	141.9%	911	-%

単体の業績予想につきましては、当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っておりますので、公表を差し控させていただきます。



利益配当金について

- ➡ 成長の為の内部留保を念頭に置きつつ、積極的に株主還元を行う所存
- ➡ 利益還元は、継続的かつ安定的に実施する方針

一株当たり配当金の予定

	2003年実績	2004年予定	2005年予定
1株当たり配当金	300 円	300 円	500 円

株式分割の影響を遡及調整した数値



本資料の記載事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。今後の業績につきましては、様々な要因によって予想数値と異なる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。